

1 水稻 農薬登録情報

水稻の倒伏防止対策は、栽植密度、施肥方法、水管理等の耕種的な技術を主体として、軽減剤はあくまで補完的に使用するものとする。

使用目的	薬剤名(一般名、%)	注意事項・その他
・節間短縮による倒伏軽減 ・登熟歩合向上	スマレクト粒剤 (パクロブトラゾール 0.6%)	<ol style="list-style-type: none"> 1 湛水状態で散布ムラの無いよう均一に散布する。 2 水稻単作田での使用が望ましい。 3 使用した水田の土壌を野菜類の床土に使用しない。 4 黒ボク土壌では効果が十分に発揮されない場合がある。 5 上位葉が直立し受光態勢の良い草姿となり、その結果、登熟歩合・千粒重の向上が期待できる。
節間短縮による倒伏軽減	ロミカ粒剤 (ウニコナゾールP 0.04%)	<ol style="list-style-type: none"> 1 湛水状態で散布ムラの無いよう均一に散布する。 2 水稻単作田での使用が望ましい。 3 使用した水田の土壌を野菜類の床土に使用しない。 4 黒ボク土壌では効果が十分に発揮されない場合がある。
節間短縮による倒伏軽減	ビビフルフロアブル (プロヘキサジオンカルシウム塩 1.0%)	<ol style="list-style-type: none"> 1 多量散布や重複散布を避ける。 2 少量散布の場合は、少量散布用ノズルを用いて、葉面に均一に散布する。 3 早い時期の処理では効果が不十分となり、収量に影響が出たりする場合がある。遅すぎると抑制する部分が少なくなるため、効果不十分となる。